

診療計画説明書

尿失禁手術(TVT)

| 終了基準 | 排尿困難がない | | | | | |
|------------|--|-------|--|-------|--|-------------|
| 経過 | 入院日・手術前日 | 手術当日前 | 手術当日後 | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3日目(退院)まで |
| 月日 | / | / | / | / | / | / |
| 達成目標 | ・手術について理解できる ・身体的準備ができています | | ・麻酔の副作用症状がみられない(嘔気、頭痛がない) ・カテーテル内に持続的に尿の流出がある ・濃い血尿ではない | | ・残尿が100ml以下となる ・残尿感がない | |
| 処置 | ・身長・体重測定をします ・名前を確認するためのバンドを右手に巻きます ・血栓を予防するためハイソックスの着用テストをします | | ・手術後、看護師にて適宜検温測定に伺います ・血栓予防のハイソックスは廊下を歩けるようになるまで装着します  | | ・日常生活動作の範囲が拡大できる <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">看護師より連絡があり次第、 下着とパットを持って泌尿 器科外来へ行きます</div> | |
| 注射薬 内服薬 | ・現在内服している薬、入院前から中止している薬がありましたら医師、看護師にお知らせください ・眠れない場合、睡眠薬を希望することができます | | ・24時間持続点滴をします ・抗生物質の点滴などを行います  | | ・経過により点滴が終了となります ・医師の指示確認後、入院前より内服していた薬が開始となります ・内服薬(排便の調整をする)がはじまります  | |
| 食事 | ・常食または、治療食となります  | | ・飲水や食事はできませんが、うがいはできますので看護師にお伝えください ・帰室後4時間後より腸の動きが確認できれば飲水の許可が出ます。それまでは絶飲食です | | ・朝から常食、または治療食がでます | |
| 安静度 | ・病院内自由です | | ・手術後、ベッド上安静です。膝立てや体の向きをかえることはできません。帰室後8時間後より看護師付きそいのもと歩くことが可能となります  | | ・病院内を歩くことができます。座ったり、立った時に頭痛や吐き気などがあるときはお知らせください | |
| 排泄 | | | ・尿管がはいっています ・排便がしたい場合は、お知らせください。ベッド上安静の際は、ベッド上にて差込便器を使用させていただきます  | | ・外来で診察時に腔内ガーゼと尿管を抜きます ・管を抜いた後、残尿がないか導尿をして測定をさせていただきます | |
| 清潔 | ・朝、洗面・歯磨き・髭剃りを済ませてください | | | | ・看護師が体拭きにうかがいます ・医師の指示にてシャワーを浴びることができます | |
| 説明 指導 | ・ご不明の点は医師、看護師にお尋ねください ・各種同意書類を提出してください ・手術に必要な物品を確認します ・手術翌日に下着と尿取りパットが必要となります  | | ・ご家族に手術の結果を病棟あるいは手術室にて説明します 手術後の注意点 ・尿道に管が入っています。管の刺激で尿道が痛んだり、おしっこがしたくなったり、排便がしたい感じがします ・麻酔を使用しているため、頭痛や吐き気がすることがあります。我慢せず看護師にお知らせください ・痰は出すようにしましょう。うがいをすると痰が出やすくなります | | ・退院について不安なことがありましたら、いつでもご相談ください ・退院後の生活・外来受診について説明があります  | |

※病名は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります
※入院期間や治療内容は現時点で予想されるもので症状により変わります